

県政報告

相田ひでお

vol. 3



発行／令和7年1月発行
発行元／相田ひでお事務所
発行責任者／相田 日出夫

〒992-0351
山形県東置賜郡高島町
大字高島156-2

TEL.0238-33-6699
FAX.0238-33-0039

公式ホームページ
▶ www.aita-hideo.jp



▶ SNS各種もチェック



9月定例会 予算特別委員会での質疑

ふるさと

誰もが・安心して・笑顔で暮らせる山形を

～5年後・10年後につながる 未来を見据えて～

県民の皆さまこんにちは！

いつも温かいご支援を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございます。

昨年は元日に発生した能登半島地震にはじまり、県内では7月25日からの大雨による山形県北部での豪雨災害では、約1,078億円(公共土木施設被害:約755億円、農林水産業被害:約294億円)の被害額に達する見込みです。

県議会、令和6年12月定例会では、大雨被害への対応や国庫補助対象外の小規模農地の復旧支援災害等を含めた一般会計補正予算を可決しました。

今回の「県政報告vol.3」では、9月定例会で行った予算特別委員会での質問内容や所属する常任委員会等に関してご報告をさせていただきますので、ご一読いただければ幸いです。

2025年もどうぞよろしくお願いいたします。

山形県議会議員 **相田 日出夫**

令和6年9月 定例会 予算特別委員会より(概要)

1 令和7年度以降の保育無償化の取組みについて

相田 令和6年度までの保育料無償化について、混乱を避けるために令和7年度の取り扱いを早期に示す必要がある。また、新たな負担軽減支援策として、第4階層の97,000円を越えた第5階層は44,500円の国基準利用料負担となり、より一層の負担軽減を図るべきだと考えるが、新たな支援策として検討する考えをお持ちか。

知事 政府に先駆けて令和3年度から0～2歳児の保育料負担軽減に取り組んでおり、全ての市町村で、国基準の所得階層8区分のうち第4階層以下の保育料が実質ゼロまたは国基準を大幅に下回っている。今後は、市町村の意見も踏まえ、事業の継続と併せて、課題となっている第5階層との段差を緩和するための支援の拡充について検討を考えます。

資料 所得階層区分別の国基準利用料(月額保育料)

所得階層区分		推定年収	国基準利用料	
1	生活保護世帯		0円	
2	市町村民税非課税世帯	260万円未満	0円	
3	市町村民税 所得割	48,600円未満	330万円未満	19,500円
4		97,000円未満	470万円未満	30,000円
5		169,000円未満	640万円未満	44,500円
6		301,000円未満	930万円未満	61,000円
7		397,000円未満	1,130万円未満	80,000円
8		397,000円以上	1,130万円以上	104,000円

昨年9月の一般質問と
今回の予算特別委員会で質問した内容が、
令和7年度の当初予算要求概要に反映されます。

拡充案

- 現行の第3および第4階層への保育料1/2交付支援を継続
- 新たに第5階層への支援拡充

2 大規模林野火災への対応について(高島町、南陽市で発生)

相田 林野火災の状況が自治体の消防能力を超える場合に備え、消火活動の統制と調整を強化し、自衛隊への災害派遣要請を迅速に行うための情報収集と調整を効率化する体制を整備など、今後についての対応は？

防災くらし安心部長 防災ヘリの派遣要請、東北各県の防災ヘリへの応援要請並びに自衛隊への災害派遣要請それぞれ手順が個別に定められており連動していなかったため、火災覚知から自衛隊への災害派遣要請を一連の流れとして整理し、防災ヘリへの出動を要請した時点で、自衛隊への情報提供を行う。また、現地体制も一元化されず情報が錯綜したため、現地指揮本部に「総括班」を置き情報を一元的に整理し、リエゾンを派遣し情報の収集と共有に取り組みます。

>>中面に続く

写真4

4 「田んぼダム」への取組状況について

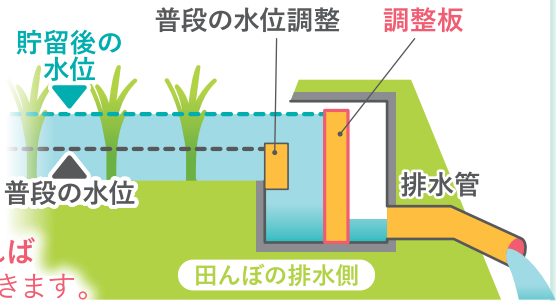
相田 頻発・激甚化している豪雨災害について、被害の予防・軽減を図る観点から県で取り組みを進めている「田んぼダム」の意義と、3年間の取り組み内容と成果を踏まえ、効用と役割と推進・加速化していく施策内容は？

農林水産部長 豪雨災害対策として「田んぼダム」という水田を利用した取り組みを推進し、令和5年度に約3,800ha、令和8年度までに約6,400haへの拡大を目指しています。これは豪雨時に水田に水を一時的に貯めることで急激な流出を抑え、流量を約7割減少させる効果があります。山形県は「やまがた田んぼダム推進事業」を通じて市町村や土地改良団体と協力し、広報活動を行い、**農業者の理解を深めるため政府の補助制度を活用し、新規農地整備事業で田んぼダム機能を備えた整備を進め、県全体への普及を計画**しています。

資料 田んぼダムの取組・活用

「田んぼダム」は、小さな穴のあいた「調整板」を排水樹に取り付けることで可能になります。「小さな穴」は、普段の排水を阻害せず、豪雨時にはゆっくりとした排水にしてくれるもの。

これが田んぼ1枚ではなく、**何千枚の田んぼで行われればダムのような効果を発揮**できます。



整備・維持管理が重要。**支援制度**で農業者の負担を軽減！

多面的機能支払交付金
資源向上支払(共同)単価の
加算を受けられる

農地耕作条件改善事業
水田貯留の機能発揮のための畦畔・排水口の
整備にかかる経費の補助を受けられる

5 学校における代替教員の確保について

相田 代替教員の確保について、ここ数年間の課題と現状として、どのような対応を行っているのか。また、**代替教員の必要数が更に増加することが予想されるが、今後どのように取り組んでいく考えなのか？**

教育長 男性教職員の育児参加を促進するため丁寧な面談を行った結果、育児休業取得率が令和2年度の2%から令和5年度には52.4%に増加しました。若手教員の増加に伴い、今後さらに育児休業取得者が増加すると予測されるため、代替教員の確保が重要となっています。これに対し、退職教員への個別働きかけや未経験者向け説明会を開催して代替教員の確保を進めています。今後は、**退職教員への働きかけを強化し、説明会の地域拡大や電子申請の導入を行い、代替教員確保をさらに進める方針**です。

資料 教職員の育休取得率の推移

育児休業の取得率

	目標(R7年)	H29年	H30年	R1年	R2年※	R3年	R4年	R5年
男性	85.0%以上	2.9%	1.5%	2.2%	2.0%	10.0%	18.0%	52.4%
女性	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.8%	99.4%

配偶者出産休暇・育児参加休暇および

配偶者の産前産後期間中の年次有給休暇の合計5日以上

	目標(R7年)	R2年※	R3年	R4年	R5年
男性	100.0%	12.8% ※	47.9%	63.3%	74.8%

※令和2年は、計画策定年。また令和2年の休暇取得率実績には、年次有給休暇を含んでいない
参考：令和6年6月30日 山形県教育委員会 特定事業主行動計画に係る実施状況および女性の職業選択に資する情報の公表

6 市町村のDX推進に対する支援について

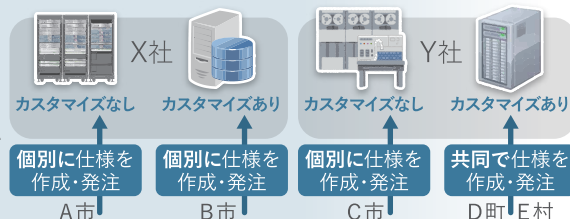
相田 スマートフォンの普及によりデジタル技術が日常生活に不可欠となる中、市町村では住民サービス向上のためにデジタル技術活用が進んでいます。具体的には、マイナンバーカードを活用した「書かない窓口」や地域ポイント事業の導入が行われていますが、**町村では専門人材不足に苦しんでいます**。このため政府は、住民サービスの向上と行政の効率化を図るために全国共通のガバメントクラウドの利用を推進していますが、県の支援状況と今後の対応内容は？

みらい企画創造部長 デジタル技術を活用した地域づくりと産業振興には市町村の取り組みが重要で、県は電子申請や施設予約システムの共同調達、デジタル技術の研修「デジタル道場」、デジタルアドバイザーの派遣などの支援策を行っていますが、職員研修不足や「書かない窓口」の導入が未定であるという課題があります。今後は取り組みが進んでいない**市町村への研修充実や財源確保を強化して県民全体がデジタル化のメリットを享受できるように取り組み、県内のDX推進を進めること**を目指しています。

資料 自治体の情報システムのDX化

現 状 情報システムは、自治体ごとにカスタマイズしている

- × 維持管理や制度改正時、個別対応となり負担が大きい
- × システムの差異調整が負担で、クラウド利用が円滑に進まない
- × 住民サービス向上の取組がスムーズに普及していかない など



「標準準拠システム」の利用を義務付ける法律が成立

目 標 令和7年度までに、統一して「標準準拠システム」へ移行

- 人的・財政的な負担の軽減を図れる
- 住民への直接的なサービス提供や、地域実情をふまえた企画立案業務などに、職員が注力できる
- オンライン申請などを全国的に普及させるためのデジタル化の基盤の構築 など

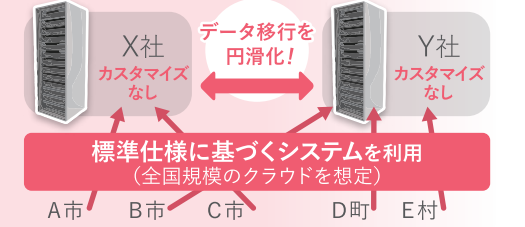


写真6



写真6

- 山形県議団による海外現地調査（ハワイ州） **写真7**
- 米沢商業高校閉校記念式典 **写真8**
- こども支援・女性若者活躍対策特別委員会

- 第63回 東北地方治水大会
- 第47回 私学フェスティバル
- こども支援・女性若者活躍対策特別委員会現地調査 **写真9**
- 亀岡地区公民館 上棟式
- 高島町新庁舎建設工事 上棟式 **写真10**
- 決算特別委員会



写真7



写真8



写真9



写真10

- 高島町合同式典 **写真11**
- 第34回 ひろすけ童話賞贈呈式
- 山形県浄化槽工業協会 記念式典
- 山形県温泉協会創立100周年記念式典 **写真12**
- 山形おきたま農業協同組合 合併30周年記念式典
- 犯罪被害者支援県民のつどい2024
- こども支援・女性若者活躍対策特別委員会
- 置賜総合開発協議会行政懇談会
- 置賜地域議員協議会
- 第4回 広報・広聴委員会
- 高島混声合唱団第25回 定期演奏会
- 厚生環境常任委員会
- 第30回 JA山形大会



写真11

- 女性・若者団体と県議会議員との意見交換会
- 高島町建設クラブ 研修会
- 生徒・学生と県議会議員との意見交換会 **写真13**



写真12



写真13

- 置賜県議団要望活動
- 県議会12月定例会
- 台北駐日経済文化代表訪問
- 第45回 山形県学童保育研究集会
- 山形県浄化槽工業協会 意見交換会
- 山形県建築士事務所協会懇談会
- 山形県私学振興議員連盟総会
- 高島町消防団第一分団第一部車上げ
- 山形おきたま農協 意見交換会

12月



令和6年度 実施工事

国道113号等 沿道、歩道等の支障木伐採

高島町を中心としたエリアで支障木伐採を含む道路の維持修繕
工事費用：約1,300万円



二井宿地区内



屋代地区内

高島町内 区画線設置

道路保全事業として道路の区画線設置工事
工事費用：約1,800万円



国道113号(高島地区内)



高島川西線

高島町内 屋代川河川整備事業(深沼工区)

吉野川合流地点から八坂橋付近までの河床掘削および護岸工事(約1.5km)
工事費用：73,500万円



支障木伐採作業



法面掘削作業

令和7年度の当初予算要求概要に反映

県民ゴルフ場 カートナビ導入

県民ゴルフ場のサービス向上と安全性の向上を図るため、約50台のカートにナビ(タブレット)を導入



※イメージ画像

地元からのご意見・ご要望で対応された工事内容

令和6年度

米沢高島線 歩道融雪補修工事

町議会議員時代から地元商店街と連携して要望してきた案件が、令和6年度「雪に強いみちづくり事業」として、消雪施設保守点検調査業務として実施。特殊ピグ洗浄工法による放熱管洗浄
工事費用：約1,000万円



配管の洗浄作業



まほろば通り

高島町内 屋代川 外支障木伐採等業務

屋代川：まほろば大橋～界橋
下有無川合流点～東橋
砂川：砂川橋～田中橋
小黑川：馬頭橋～中島橋
工事費用：2,250万円



石ヶ森橋付近

令和5年度

高島町内 砂川 外支障木伐採等業務

河川流下能力向上・持続化対策事業として
工事費用：1,090万円



砂川 伐採作業

令和6年 4月～10月 厚生環境常任委員会の主な質疑(概要)

山形県議会HP内
厚生環境常任委員
質疑・質問



4月24日(4月閉会中)

- ▶やまがた子育て応援パスポート拡大・利便性向上に向けて

7月3日(6月定例会)

- ▶特別養護老人ホームの入所率や手続等の課題対応
- ▶エネルギー政策基本構想の見直し対応

- ▶「子どもの貧困率」の要因分析後の対応
- ▶分煙施設の整備取組に対する考え方

8月21日(8月閉会中)

- ▶災害後の市町村毎の災害廃棄物の処理状況と、処理に係る財源
- ▶災害時の下水処理に対する県の支援状況

10月4日(9月定例会)

- ▶南陽市秋葉山の撤去工事費用とトイレ新設の予定
- ▶今年度の保育士育児休業取得促進事業の実施状況
- ▶保育士の配置基準に関して県での検討状況

事務所のご案内



ぜひ
皆様のご意見をお寄せください

最新の活動情報 発信中!

公式ホームページ・各種SNSもチェック

▶ www.aita-hideo.jp



政治活動についての留意事項

時候の挨拶状の禁止(公職選挙法147条の2)……公職の候補者等は、当該選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞状、暑中見舞状その他これらに類する挨拶状(電報その他これに類するものを含む。)を出すことはできません。政治家が、自ら選挙区内の方に年賀状を出すことはできず、返事のために全て自筆(手書き)のみ許されているという法律です。新年のご挨拶を失礼いたしますことを、どうかお許しください。

総務省
ホームページ

相田ひでお事務所

〒992-0351 山形県東置賜郡高島町大字高島156-2

TEL 0238-33-6699

FAX 0238-33-0039

Mail info@aita-hideo.jp

